

# 徳島県立富岡東高等学校羽ノ浦校 総括評価表

自 己 評 価				学校関係者評価	次年度への課題と		
重点課題	重点目標	評価指標（と活動計画）		評 価		学校関係者の意見	今後の改善方策
		評価指標		評価指標による達成度	総合評価		
II 臨地実習での指導 方法を工夫し支援体制を整備するとともに、看護師国家試験合格をめざす。	《全校レベル》 臨地実習において必要な基礎学力の充実を図り、生徒の力量に応じた個別指導に取り組む、看護師国家試験合格をめざす。	①個々に応じた指導に取り組む。適切な資料の提供 等生徒が実習しやすいような支援体制を整える。	実習中は個別指導に努め、支援体制を整えた。個別的に実習記録内容の指導を行い適切な資料・文献を提示した。	A	A	看護臨地実習や看護師国家試験の結果等からすばらしい成果を修めている。引き続き生徒一人ひとりに応じた指導に取り組んでほしい。 生徒には教科書だけでなく、文学書を読んだり映画鑑賞を行い、家族を思う心や生きる力を養い、看護師として心豊かな人間に育って欲しい。	高校1年生から看護を学んでいる本校生は、人格形成の中心に看護が存在する。その看護には教科書だけで無くあらゆる分野に関係する要素を取り入れていく必要がある。看護の心を育てるため、成長発達に応じた指導やサポートをしていきたい。
		②臨地指導者との連携を密にし、生徒の問題を早期に把握し適切に対処できる。	病棟師長、臨地指導者と連携を密に取り、実習状況を把握した。今年度から始まった新たな実習病院でも効果的に実習が行えた。	A			
		③臨地実習終了後は、生徒全員に、実習場面の振り返りを行わせ、思考判断能力を育成する。	インシデントレポートを分析し、実習場面の振り返りを行わせ、思考判断能力の育成を3年の特別時間割で行う。	A			
		④専攻科において、各模擬試験の有効活用を図り、必修問題8割、一般問題7割に満たない者は再試験を実施する。	再試験とともに口頭試問を取り入れ、知識の定着に努めている。	A			
		⑤専攻科において、国試演習では看護師国家試験の出題基準を網羅し、内容の充実を図る。	教科の各領域で、出題基準を研究し、看護師国家試験演習に取り組んでいる。	A			
	《下位組織レベル》 ①看護科と専攻科の連携を深め、臨地実習指導の充実を図る。 [看護科教員] ②実習時における個別・グループ別指導の充実を図る。 [看護科教員]	<b>活動計画</b> 臨地実習を通して学びを深め、看護師国家試験に意欲的に取り組めるようにする。	<b>活動計画による実施状況</b> 臨地実習での学び・体験を授業内容と関連づけたり、看護師国家試験過去問題を授業の復習問題に活用した。	A			
	③臨床側指導者と密接な連携を図る。 [各施設担当者]	①校内の講義・実習と臨地実習との関連を図り、適切な教材の提供を行う。臨地実習事前レポート課題の内容を精選し、長期休業前に提示する。	病棟の特徴に応じた事前学習内容を設定している。不備があれば個別に追加・訂正させ、指導している。				
	④国試演習の充実を図る。 [進路指導課]	②臨地実習中は随時、個別指導を行うとともに、専門書を活用させ、自ら学ぶ環境を整える。	実習病棟において、実習態度を観察し個別に対応している。文献により科学的根拠の記録を追加させている。				
	⑤模擬試験の有効活用に取り組む。 [進路指導課]	③実習内容の報告を徹底し、生徒・教員間で連絡・相談を行う。	実習病棟から戻った際に報告を徹底するとともに、情報共有も綿密に実施している。				
		④専攻科において、各模擬試験の得点率が、必修問題8割、一般・状況設定問題7割以上になるまで再テスト実施する。	再テストや口頭試問で不足している知識について個別指導をしている。				
	⑤専攻科において、補習や国試演習は習熟度別等のグループに分け、個に応じた指導が行いやすいようにする。	習熟度別の2コースに分けることにより、より具体的な指導に繋げている。					

